

学生地域定着推進広域連携協議会

平成 30 年度 活動報告書（概要版）



登録学生 **596** 名

全 **81** プログラム

活動述べ人数 **732** 名

学生地域定着推進広域連携協議会 令和元年 5 月

1. 実施結果概要

(1) 実施期間

- ・平成 30 年 4 月～平成 31 年 3 月

(2) 事業名称

- ・学生地域定着推進広域連携事業（愛称：ジモガク）

(3) 登録者数

- ・596 名(内訳別途記載)

(4) 実施プログラム数

- ・81 プログラム(一覧は別途記載)

(5) 加盟団体

- ・大学：酪農学園大学、札幌学院大学、北翔大学、北海道情報大学
- ・自治体：芦別市、赤平市、三笠市、南幌町、由仁町、長沼町、栗山町、江別市

(6) 広報活動：大学への出前講座、チラシ配布等による PR

(7) 学生地域定着状況

	大学	自治体	就職先	参加した地域活動 プログラム（主なもの）
学生①	北海道情報大学	江別市	建設業	企業インターンシップ

2. 登録大学生の分析

(1)登録者の属性

①傾向

平成 30 年度の登録者数は、4 大学で 596 名(平成 29 年度以前の卒業者は除く)となった。所属大学及び性別の内訳は表 2.1 に示す通りである。登録者数は昨年度と比べて 130 名増加した。

②考察

所属大学においては、昨年度同様、講義等で直接 PR をできたり、活動へ参加することで出席や単位認定されたりする大学での登録者数が多い傾向にある。

学年の内訳は表 2.2 の通りであるが、2～4 年生の割合が高くなっている。所属大学と同様に、講義での PR や、ゼミ活動を通じた参加が盛んな学年であり、それに比べて 1 年生の割合が少ないのは、当該学年に向けた PR の機会が少なかったためと考えられる。

表 2.1 登録者数

(人)

	男	女	合計	%
札幌学院大学	117	65	182	30.5
北海道情報大学	26	11	37	6.2
北翔大学	25	86	111	18.6
酪農学園大学	144	122	266	44.6
総計	312	284	596	100.0

表 2.2 登録者の学年

(人)

	1 年	2 年	3 年	4 年	大学院	不明	合計
札幌学院大学	20	30	58	73	1	0	182
北海道情報大学	6	4	15	12	0	0	37
北翔大学	22	41	27	19	2	0	111
酪農学園大学	33	74	74	79	0	6	266
総計	81	149	174	183	3	6	596

表 2.3 登録者数の推移

(人)

	2015 年度	2016 年度	2017 年度	2018 年度
登録者数	62	305	466	596

(2)登録人数・参加延べ人数

①傾向

全 81 プログラムに参加した延べ人数を以下に整理する（江別市のインターンシップ事業は延べ 200 名の参加となり、比率が大きくなるため、除外した数字で整理した。）

登録人数に対する参加回数の比率を表 2.4 の「B/A」で表しているが、全登録者平均は 0.9 となっている。情報大学は、この数値が 2.6 になっている。登録人数に比べて複数参加する大学生が多数いることが要因である。

②考察

昨年同様の傾向が見られるが、一度の参加活動が授業出席に認定される授業がきっかけでの参加や、ゼミ活動の一環として単発の活動に参加した場合は、まとまった人数が参加しても他の活動まで繋げられないケースもあり、リピート率を下げる一因になっていると思われる。

また 3、4 年の学年になると就職活動等を優先する学生が多くなっているため、参加率が低下し、登録人数に対して参加人数が減少している原因にもなっている。

表 2.4 登録人数及び参加延べ人数

	登録人数(A)	%	延べ人数(B)	%	B/A
札幌学院大学	182	30.5	141	26.5	0.8
北海道情報大学	37	6.2	97	18.2	2.6
北翔大学	111	18.6	97	18.2	0.9
酪農学園大学	266	44.6	180	33.8	0.7
(評価書未記入)			17	3.2	
総計	596	100.0	532	100.0	0.9

※延べ人数の計算：1 日毎に活動プログラムに参加した学生の合計人数

表 2.5 学年別登録人数及び活動人数

学年	登録人数	%	活動人数	%
1 年	81	13.59	42	19.09
2 年	149	25.00	79	35.91
3 年	174	29.19	59	26.82
4 年以上	186	31.21	40	18.18
不明	6	1.01	0	0.00
総計	596	100	220	100

(3)個人別の参加回数

①傾向

登録者のうち、今年度 1 回でも活動に参加した人数は 220 名となっている。登録者の約 60%の 376 名は、一度も活動に参加していない。同じく 2 回以上活動に参加しているのは約 13%にあたる 76 名となった。

②考察

一度も参加しない人数の割合は、昨年度よりも上昇しているが、これは昨年度登録をして一度も参加していない層がそのまま残っていることが原因と考えられる。

高いリピート率となっていた学生が卒業したにも関わらず、一定の複数参加者がいるのは、新しい高いリピート者が生まれたことを意味している。昨年よりも三回以上の参加者数は減っているものの、一回目と二回目以上の参加者数は増加している。

図 2.1 参加した学生の参加回数と人数

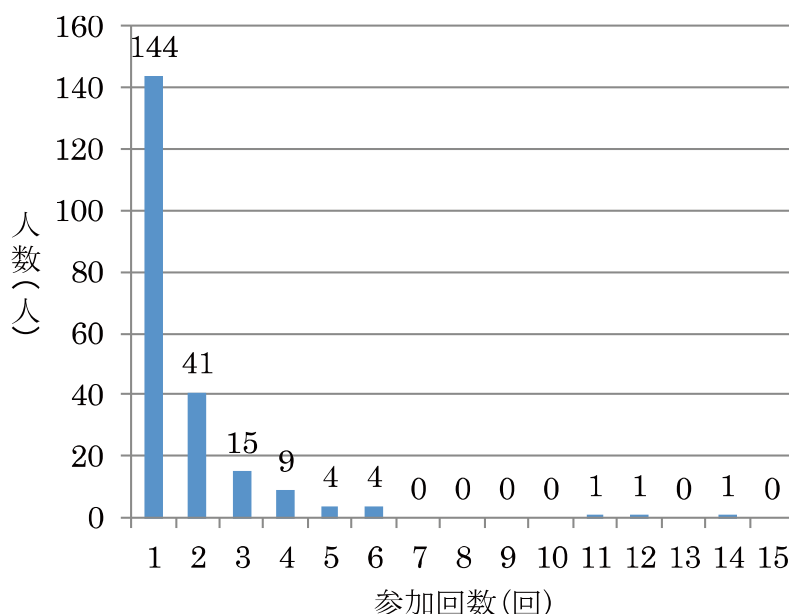


表 2.6 登録者数に占める参加者の割合

	人数(人)	登録者数に占める%	昨年度比
登録人数	596		1.20
未参加	376	63.1	1.37
1 回以上参加者数	220	36.9	1.15
2 回以上参加者数	76	12.8	1.17
3 回以上参加者数	35	5.9	0.90

(4)登録学生の出身地

①傾向

登録者のうち、出身地のわかる学生 410 名について整理した。約 68%は道内出身であり、その内約 31%は札幌市出身となっている。江別市になる大学に在学する学生が対象ではあるが、江別市出身の学生は 6%程度となっている。

②考察

江別市を除けば、当事業の活動対象地域の出身者はごく少数であり、この事業を通して初めて関わるケースが多いと思われる。昨年度と比べると北海道出身の割合が約 7%減少しており、道外出身者が増加傾向にある。約 32%の道外出身者にとっては、江別以外で初めて関わる道内の自治体というパターンも多くあり、一度の関わりでも強い印象を残せる可能性が高い。

表 2.7 登録学生の出身地

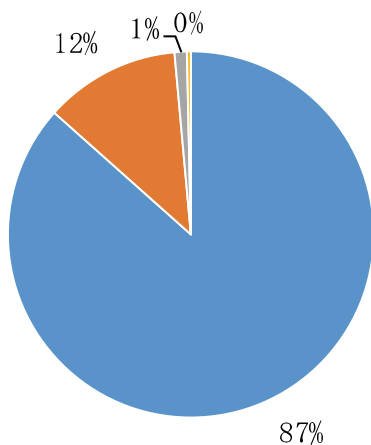
全国別			北海道内		
出身地	人数(人)	%	出身地	人数(人)	%
北海道	278	67.8	札幌市	83	31.2
東京都	14	3.4	江別市	17	6.4
青森県	10	2.4	帯広市	15	5.6
埼玉県	9	2.2	函館市	12	4.5
宮城県	9	2.2	岩見沢市	10	3.8
兵庫県	8	2.0	北見市	7	2.6
岩手県	7	1.7	旭川市	7	2.6
福島県	7	1.7	栗山町	5	1.9
愛知県	7	1.7	長沼町	2	0.8
大阪府	6	1.5	由仁町	2	0.8
秋田県	4	1.0	三笠市	2	0.8
神奈川県	4	1.0	南幌町	1	0.4
茨城県	4	1.0	赤平市	1	0.4
群馬県	4	1.0	芦別市	1	0.4
その他	39	9.5	その他	101	38.0
合計	410	100.0	合計	266	100.0

※未記入数：186 人 北海道のみ記入：12 人

(5)活動参加評価書

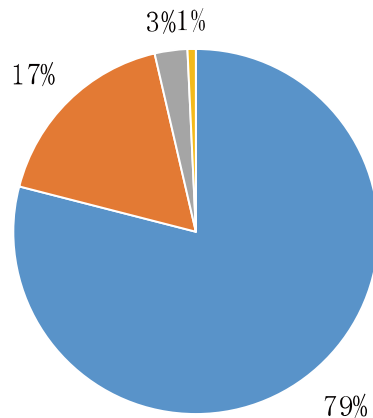
活動後に記入する活動参加評価書の集計結果は、以下の通りとなった。選択式のみの集計は以下に示す(記述式は参考資料に添付)。この結果についての考察は、「4.成果と課題」に記載する。

1. 自分にとって有意義だったか



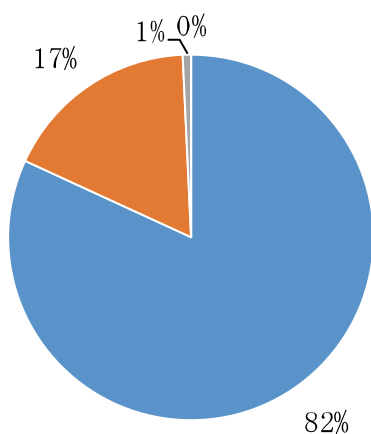
- ① 有意義だった
- ② まあ有意義だった
- ③ あまり意義がなかった
- ④ 意義がなかった

2. 地域を知り、良い出会いを得るきっかけになったか



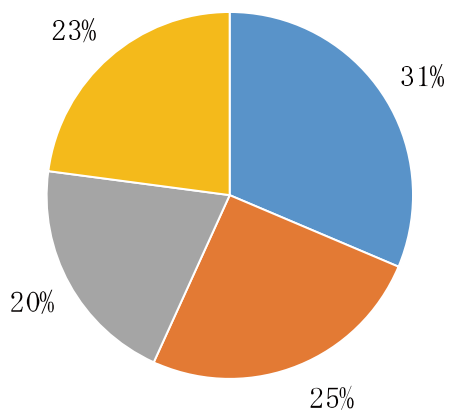
- ① なった
- ② 少しなった
- ③ あまりならなかった
- ④ ならなかった

3. 今後も参加したいか



- ① 参加したい
- ② まあ参加したい
- ③ あまり参加したくない
- ④ 参加したくない

4. 就職や進路、活動地域に対する意識は変わったか



- ① 変わった
- ② 少し変わった
- ③ あまり変わらない
- ④ 変わらない

(6)記述式回答 記述式のうち、主な回答を抜粋して以下に示す

質問項目	回答
①自分にとって有意義だったか	・街の商店街を知るきっかけになり、町の様々な人と関わることができ、有意義だった ・自分で考えて行動する力が身についたから ・様々な方からの感謝の言葉が嬉しかった。 ・ボランティアは初体験だったので新鮮だったから ・他大学や地域の方と協力して終わらせることが出来、友達もできた ・とても楽しく、実習に活かせるものを見つけたので有意義だった ・知らなかった企業を知るきっかけができて有意義だった。
②地域を知り、良い出会いを得るきっかけになったか	・他大学の学生や、役場の職員、訪問企業の職員と出会えたため。 ・地域に実際に行くことでわかることがたくさんあったから ・様々な場所でのボランティアに行くためのきっかけとなった。 ・その地域について詳しく説明していただけたので興味を持てた ・多くの人と話すことができ、地域の方とも多く話せてもらえ、よい出会いだった ・その地域の特産物を知ることができ、様々な人と話すことができた ・前回出会えた人とまた会えて、覚えてくださっていてありがたいと思った ・地元でも詳しく知らなかったことを知るきっかけになったため ・地域を活発にするために活動されている方々と交流を持つことができた
③今後も参加したいか	・江別四大学による活躍を知ってもらいたいため ・自分のためにも、またそれよりも大きく地域の人々と楽しめてよかったと思うし、やりがいがとてもありました ・まだ知らない地域の一面が多くあると思うので、もっと他の地域もみてみたい ・地域活動を通して学べることも多いと思うので参加していきたいです ・今回のボランティアがとてもよかった、そして達成感を得た ・機会があれば是非参加したい。人と交流することが苦手でしたがとても楽しかった ・自分の経験値が増え、知らなかったことを知ることができたから ・普段の学生生活では会えない人に会えて新しい体験ができるから ・前回も今回も沢山の皆さんが喜んでくれたので嬉しかったため ・その地域について知るきっかけになるし、地域のためになにかしたいと思うから ・他大学の方とも積極的にコミュニケーションを取れる機会も大事だと思ったから
④就職や進路、活動地域に対する意識は変わったか	・道内の札幌から少し離れた場所で働きたかったから ・地元に対してのイメージがまた少し変わったから ・様々な地域に行くことでその町の良さが見え、様々な体験ができるので進路選びのヒントになると思った ・地元へ帰るかどうかちょっと揺らぐ ・インターンへ行った事で町の雰囲気や人から就職先を決めることも良いと思った ・地域に関連した仕事をしてみたいと思いました ・江別に居住し就職先を探してみるのもよいなと感じた

【江別市】

事業名	大麻銀座商店街 ブックストリート・ベジスト	
日程	4/21（土）～3/31（土） 8:30～18:00	
のべ人数	40	
概要	大麻銀座商店街で行うブックストリート会場の設営・撤収、本の販売の補助など	

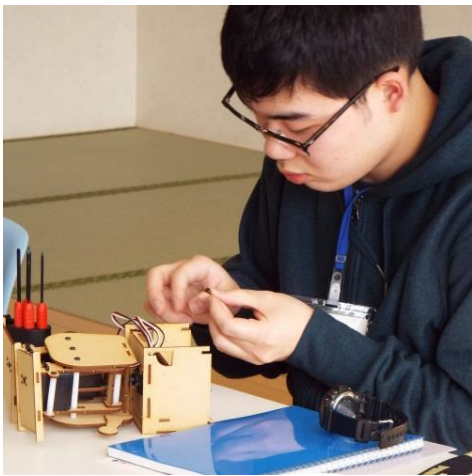
事業名	企業インターンシップ	
日程	8/20（月）～22（水） 9:00～16:00	
のべ人数	7	
概要	市内企業へ3日間のインターンシップ（2社）	

事業名	ジモ×ガクワークショップ	
日程	12/13（木） 18:00～20:30	
のべ人数	17	
概要	【ジモ×ガク】について、意見交換を行うワークショップ	

【芦別市】

事業名	日本プロ野球 OB ベースボールサマーキャンプ in 芦別	
日程	8/8（水）～10（金） 8日 11:00～ 10日 13:00	
のべ人数	3	
概要	元プロ野球選手が講師となり小学4年生から6年生を対象に実技指導する野球教室の補助	

事業名	地域おこし協力隊と連携した観光施策の検証	
日程	9/5（水）～7（金）	
のべ人数	15	
概要	観光客としてのモニタリングによる検証と意見交換会	

事業名	企業インターンシップ	
日程	2/25（月）～27（水）	
のべ人数	6	
概要	3日間の短期インターンシップと意見交換会	

【赤平市】

事業名	学生インターンシップ	
日程	8/27（月）～31（金）	
のべ人数	18	
概要	市内企業へ3日間のインターンシップ（7社）	

事業名	教育ボランティア	
日程	4/1～	
のべ人数	5	
概要	赤平市教委独自の学生対象ボランティアへ登録し、小中学生への学習等を補助	

事業名	「第1回あかびらエルム高原マラニック」運営ボランティア	
日程	10/7（土） 8:00～15:00	
のべ人数	3	
概要	第1回あかびらエルム高原マラニックの運営補助	

【三笠市】

事業名	北海盆踊り	
日程	8/13(月) 9:00~21:00	
のべ人数	8	
概要	北海盆踊りの発祥の地、北海 盆踊りイベントへの出展及 びボランティアスタッフ	

【南幌町】

事業名	「広報なんぽろ学生特派員」	
日程	7/21（土）～	
のべ人数	8	
概要	南幌町の広報誌である「広報なんぽろ」に掲載する原稿執筆及びレイアウト作業	

事業名	自然体験学習	
日程	7/31(火)～3（金） 31日 8:00～ 3日 16:00～	
のべ人数	16	
概要	外部指導者として3泊4日の日程でニセコ町をベースにキャンプ・川下り・登山などを行う。	

事業名	野祭	
日程	9/1（土） 10:00～17:00	
のべ人数	5	
概要	農業イベント「野祭（やさい）」の会場設営・撤去、イベント・出店スタッフ	

【由仁町】

事業名	由仁小学校「夏休み学習会」	
日程	7/26（木）～30（月） 9:30～11:00	
のべ人数	11	
概要	由仁小学校の夏休み学習会において、教員の補助	

事業名	ムカデ競走参加	
日程	7/29（日） 9:30～14:00	
のべ人数	15	
概要	由仁町夏まつりで開催されるムカデ競争の運営補助及び選手としてムカデ競争に参加	

事業名	由仁小学校「冬休み学習会」	
日程	12/25（火）～27（木） 9:30～11:00	
のべ人数	11	
概要	由仁小学校の冬休み学習会において、教員の補助	

【長沼町】

事業名	夕やけ市(第 112 回～第 115 回)	
日程	6/23(土)～ 9/22(土) 16:00～20:00	
のべ人数	28	
概要	「夕やけ市」のスタッフとして、イベント会場運営補助(会場準備、子供向けミニゲーム等)を行う。	

事業名	おもちゃづくりのつどい	
日程	10/28 (日) 9:30～15:00	
のべ人数	3	
概要	町内の小学生たちとレクリエーション後、ランタン、プラバン、ビーズ等を使ったキーホルダー等を作る	

事業名	冬のつどい	
日程	2/3 (土) 9:30～13:30	
のべ人数	2	
概要	長沼町の子供たちと節分行事、昔あそびなどを行うレクリエーション	

【栗山町】

事業名	くりやま老舗まつり	
日程	4/8(土)～9(日) 10:00～16:00	
のべ人数	17	
概要	お祭りの会場 PR、ごみ分別作業などイベント補助	

事業名	子育て支援ボランティア (児童センター)	
日程	8/1 (火) ～3/20 (水) 9:00～12:30、9:00～15:30、 9:00～16:00、9:00～16:30	
のべ人数	16	
概要	学習支援、遊び支援、学生コーナー の企画と運営等	

事業名	ファイターズ応援トークショー	
日程	11/21 (水) 13:00～18:00	
のべ人数	5	
概要	ファイターズ応援トークショーの 運営補助	

【南幌町、長沼町合同】

事業名	南幌町・長沼町の企業を知るバスツアー
日程	2/8（金） 9:00～17:00
のべ人数	5
概要	地域で特徴的な事業を展開する各企業の事業内容や見学し、意見交換を行う



【栗山町、由仁町合同】

事業名	栗山町・由仁町の企業を知るバスツアー
日程	3/13（水） 9:00～17:00
のべ人数	7
概要	地域で特徴的な事業を展開する各企業の事業内容や見学し、意見交換を行う



4. 成果と課題

(1) 大学生

成果	課題
参加実績と評価結果 昨年度同様、今年度も当事業をきっかけとして、地域活動に参加した学生が約 200 名生まれた。活動評価書の結果では「就職や進路、活動地域に対する意識は変わったか」という設問で「変わった」が 12%上昇しており、この活動を通してこの地域で就職することに対して興味を持つ学生が増え、より学生の地域定着に基づいた活動として充実してきている。	未参加学生 一度でも参加すると再度参加する確率は高くなるが、登録はしたものの参加をしてみようと一歩を踏み出すことが難しくなっている。これを解決するためにも、学生に直接アピールをしたり、大学の教員、職員から促されたり、あるいは友達が誘ったりという、対面で背中を押す機会を更に増やす必要がある。

(2) 受入地域

成果	課題
① 活動の広がり 学生の活動に対する進路や就職に対する意識が変わっている学生が多く、受け入れ地域の方々との触れ合いを通して地域の方々の温かさを知り、地域を知ってもらおうという熱意によるものと思われる。	募集時期 募集から締め切りまでの期間が短いと、参加したくても既にアルバイトの日程が決まっていて参加できない、という声が聞かれた。アルバイトのシフトは一ヶ月単位で決まることが多いため、募集期間は一ヶ月以上あることが理想である。

(3) 運営

成果	課題
① 大学との連携 新学年ガイダンスでチラシの配布を行い、大学側のご協力により、PR する機会を設けている。直接語りかけられる機会が増えれば、更に参加者の上昇が見込まれる。 また、直接ご相談できる教員の方が増えることで、より地域のニーズに沿ったマッチングが可能になった。	参加学生の確保 特に 7 月下旬から 8 月の月上旬は、夏祭り等のイベントが多いにも関わらず、大学では夏季休業前のテスト期間に重なり、参加学生を見つけることが困難になっている。それでも、学年によってはテストが少ないこともあるので、各学年等しく登録学生を確保することが重要となる。

